



2017年2月23日 第2270回例会
2月第4例会

RIテーマ Rotary serving humanity
「人類に奉仕するロータリー」

本年度会長テーマ
「ロータリー活動 奉仕の覚醒」

「平和と紛争予防/紛争解決月間」

◆ 会長時間 ◆

香川会長



まずもって冒頭に流れていたテープは、ロータリー創立75周年(1980年)を記念して作成されたもので、1933年米国マサチューセッツ州、ボストンで行われた国際大会の時、

ポール・ハリスが一般向けにラジオ放送したものだそうです。テーマは、「地上には平和を 全ての人には善意を」だそうです。

ポール・ハリスのまとめとして、また名言の一つにもなっているそうですが、「ロータリーは人間の生き方であり、善良で気取らない、健全なそして親切的な生き方である」と、述べられています。

さて、本日は2月23日です。1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合を持った日です。この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」(World Understanding and Peace Day)として遵守されます。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。理事会は、この2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和の週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しています。

最後になりますが、2月26日は、グループ6・7合同インターシティーミーティングです。昨年度広島西ロータリークラブが主管し、既に1年が経

過をいたしました。懐かしい反面、もう1年が経過したのかと時間の経過の速さを感じます。

昨年度の他クラブのご協力に感謝する意味も込めまして、多くの方々にご参加いただきますことをお願いします。

● 会務報告 新原幹事

※2016年手続要覧を購入者のBOXに配布しております。

※26日(日)14時からグループ6・7合同インターシティーミーティングがグランヴィア広島にて開催されます。出席回答をいただいている方のBOXに当日のプログラムを入れておりますので、よろしく申し上げます。なお、駐車場の用意がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。また、やむを得ず欠席される方は事務局までご連絡をお願いします。

※他クラブ例会臨時変更

- 3月 7日(火) 広島安芸RC 夜間例会に変更
- 3月21日(火) 広島RC 休会
広島安芸RC 夜間例会に変更
- 3月22日(水) 広島陵北RC 休会
- 3月28日(火) 広島安芸RC 夜間例会に変更
- 3月29日(水) 広島陵北RC 夜間例会に変更

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 松岡(幹)君

本日(2月23日・木曜日)
 会員数 85名 出席者 72名
 欠席者 13名 ご来客 6名
 ご来賓 1名 ゲスト 0名
 計 79名
 前々回(2月9日・木曜日)
 出席率 100%



※前橋次年度幹事

例会終了後、3階「カトレア」において次年度第1回クラブ協議会を開催いたしますので、理事及び各委員長は出席願います。

●同好会報告

紫雀会 片山世話人

2月16日(休)に庚午クラブにて行われました紫雀会2月例会の参加者は計6名でした。1位は岡野名人、2位は小橋名人、3位は木本君となりました。

●会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

(9名)

小島君	明子夫人
日域君	祐子夫人
坂田君	玲子夫人
小橋君	裕子夫人
上田君	美智子夫人
大植君	香代子夫人
井下君	由紀子夫人
江川君	真紀夫人
山木君	路子夫人

👑 1月決算月おめでとうございます。

(4名)

井原君	(医)井原クリニック
笹野君	おおたけ(株)
中岡君	(株)ナカオカ
久保君	(株)サンフレッチェ広島



●スマイルボックス

SAA 柴田君

松岡(幹)君(自主申告)

2月の広島ゴルフクラブ鈴ヶ峰コース月例で、また優勝しました。はずかしながらスコア90でC組ゴールドのスクラッチ競技でした。

紫雀会

1位 岡野君(ダブル)
 2位 小橋君
 3位 木本君

全員出宝

本日はロータリークラブ創立記念例会です。全員出宝をお願いいたします。また、今の時点でロータリーバッチを付けておられない方は、合わせてダブルでご出宝ください。

■卓話

<2017年2月16日 久保 雅義 君卓話>

サンフレッチェ広島のフォーメーション



[図]マイボール時のフォーメーション

サンフレッチェの4年で3回優勝の実績を分析する時、チームのシステム、つまりサンフレッチェ独自の「3-6-1」を抜きには語れないと思い

ます。

選手の配置そのものは、決して珍しくはないのですが、サンフレッチェの場合は、キックオフ時の「3-6-1」を基本としてマイボール時に「4-1-5」へ、相手ボール時には「5-4-1」へと変化を遂げる点で世界でもまれにみるシステムを採用しています。

いまでは「可変システム」という呼称とともに、日本でもすっかりお馴染みになったスタイルが、なぜJ1戦線を席卷しているのか。

「可変システム」とは



【図】相手ボール時のフォーメーション

自在にフォーメーションを変化させる「可変システム」を、説明しますとマイボールになるとダブルボランチの一人、森崎、丸谷、稲垣が最終ラインに下がる。センターバックの千葉、野上とともに攻撃のビルドアップ役を担う形になります。

同時にワントップの工藤、皆川、宮吉の左右に柴崎、フェリペとロペス、茶島、松本のダブルシャドーが並び、さらに柏、清水航平とミキッチ、高橋の左右のサイドハーフがウイングの位置に張って5トップとなります。

相手ボールとなると、3バックと左右のサイドハーフを合わせた5人が最終ラインを形成。ダブルボランチとダブルシャドーを加えた9人による強固なブロックで、相手が攻め込むスペースを消し去ります。

異なる2つのチームがオートマチックにピッチ上に現れるようなイメージです。

「4-1-5」がもたらすメリット

それでは、マイボール時の「4-1-5」がもた

らすメリットとは何かと言いますと。「前線に選手が5もいる形になりますので、必然的にタテパスが入るルートが多くなります。5人のうちの誰かがボールを受けに下がってきます。あるいは、相手がタテパスの入るコースを消そうとします。どちらの場合でもスペースが生じて、ワイドに張る左右の選手が生きてくるようになります。守る側としてはブロックを作りづらい上、選手のポジション配置に隙間があれば、そこをどんどん狙われる悪循環に陥ってしまうようになります。

加えて、左右はクロスを供給するサイドバックではなく、相手のペナルティーエリア付近までどんどん攻め上がって攻撃に厚みを持たせ、ときにはミドルシュートも放つMF的な仕事を求められます。

つまり、「4-1-5」がときには「2-3-5」にも変化を遂げ、相手が守備を受け持つゾーンで次から次へと数的優位な状況を作り出していく状況になり相手チームからすると非常に守りにくいですし攻めにくくなってきます。

指揮を執るOBの森保一監督は、前任者のスタイルを保ちつつ、その上で相手ボール時に自陣深くに引くだけでなく、高い位置から素早くアプローチする積極的な守備も併用しました。

結果として4年で3回の優勝をもたらし、守備力を向上したことにより、偉業をなし得たと思います。

世界のサッカーでも稀にみるフォーメーションを使っております。上記のシステムを知ったうえでサンフレッチェの試合を観戦すると楽しさもましてくると思います。

今後ともサンフレッチェ広島をよろしく願っています。



広島地域密着型プロロードレースチーム 2017

～広島の自転車文化を創造する～



VICTOIRE 広島ゼネラルマネージャー

中山卓士氏

この度は卓話をさせていただきまして、誠にありがとうございました。貴重な機会をいただいたことを大変嬉しく思います。今

回お伝えしたかったのは、第一に「ロードレース」とはどのような競技なのか、そして私が代表兼監督をしているロードレースチーム「ヴィクトワール広島」はどんな活動をしているのかについてです。

まず、日本においてロードレースは認知度が低く、「自転車のレース」と言われて真っ先に頭に浮かぶのは競輪ではないでしょうか。競輪はトラックの中を走る短距離戦ですが、ロードレースは公道をコースとする長距離戦です。ヨーロッパではサッカーに次いで人気のある国民的スポーツであり、「ツール・ド・フランス」は世界的にも有名な大会です。私が選手として活動してきたベルギーは、ロードレースを国技としていて、自転車レースの歴史は100年以上とされています。毎日ベルギーのどこかでレースが行われており、世界のトップ選手が集結しています。私はそこで感じた熱気を広島でも作り出したいと思っています。

日本にはJプロツアーという大会があり、これはサッカーでいうJ1にあたる日本のトップリーグで、全国22チームが参戦しています。ヴィクトワール広島は、中四国唯一のJプロツアー参戦チームとして誕生し、今年で3年目を迎えます。広島には、しまなみ海道をはじめサイクリングコースとして魅力的な場所が数多く存在し、ロードバイクを楽しむ人々の姿が多く見られます。自転車を愛する人が大勢いる広島だからこそ、乗る楽しさ、観戦する面白さを提供できる存在にチームを育てていきたいです。

ヴィクトワール広島は、レースだけでなく地域密着型チームとして地域貢献に力を入れています。安全指導もそのうちの一つです。自転車は生活に根差した身近な乗り物であるからこそ、安全意識が低くなりがちで危険を招くこともあります。自転車が個々にとって楽しい乗り物であり続けられるよう、未就学児や小学生を対象とした安

全教室を開いたり、警察署と連携して安全を訴えるPR活動を行ったりと、命を守るための活動に注力しています。

また、安全面だけでなく、自転車文化を発展させることも地域密着型チームの役割だと考えています。自転車観光で世界のサイクリストから注目されている尾道では、市や観光協会と連携してサイクリングガイドの育成事業を行っています。観光客の増加に伴い、サイクリングガイドの需要が高まっていますが、自転車に乗る技術とガイドの知識の両方が必要なため、人員確保が難しい現状があり、ガイドの発掘・育成に乗り出しました。他にも、サイクリングイベントの主催やゲスト出演など一つひとつの活動を通して、自転車文化をより豊かなものにしていきたいと思っています。

まだまだ小さなチームなので、私が思い描いているものを実現するには時間がかかるかもしれませんが、地道に一步ずつ前進していきます。皆様、どうかヴィクトワール広島の応援よろしくお願いたします。



● 卓話予告

日時	テーマ
3 / 9 (木)	創立47周年記念夜間例会

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 香川 基吉
幹事 新原 靖

広島西RC **検索**
事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会